

**製品名: Shb (リン酸化 Tyr246) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05416**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SHB
別名	SHB; SH2 domain-containing adapter protein B
遺伝子 ID	6461.0
SwissProt ID	Q15464
免疫原	ヒト Shb のリン酸化部位 (リン酸化 Tyr246) 周辺の合成リン酸化ペプチド

**背景**

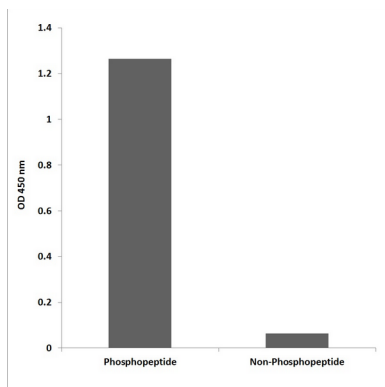
ドメイン :SH2 ドメインは、コンセンサス配列 Y-[TVI]-X-L を持つリン酸化ペプチドに優先的に結合し、PDGFRA、PDGFRB、FGRFR1、IL2RB、IL2RG、CD3Z、CRK/CrKII との相互作用を媒介します。機能:活性化受容体を下流のシ

グナル伝達成分に連結することで、いくつかのシグナル伝達カスケードを制御するアダプタータンパク質。FGFR1、VEGFR2、PDGFRシグナル伝達を制御することで、血管新生に関与している可能性があります。また、塩基性FGFおよびNGF誘導シグナル伝達カスケードを媒介することで、T細胞抗原受容体/TCRシグナル伝達、インターロイキン-2シグナル伝達、アポトーシス、神経細胞分化にも関与している可能性があります。インスリン産生細胞におけるIRS1およびIRS2シグナル伝達も制御する可能性があります。PTM:PDGFRA、PDGFRB、TCR、IL2受容体、FGRF1またはVEGFR2の活性化時にリン酸化されます。類似性:1つのSH2ドメインを含みます。細胞内位置:TCR刺激時に膜脂質ラフトと関連します。サブユニット:PTPN11と相互作用します(類似性による)。リガンド活性化受容体PDGFRAのリン酸化「Tyr-720」とSH2ドメインを介して相互作用します。リガンド活性化受容体PDGFRB、FGFR1、KDR/VEGFR2、IL2RBおよびIL2RGと相互作用します。EPS8およびV-SRCと相互作用します。GRB2およびGRAPと相互作用します。CD3Zと相互作用します。ZAP70、LCP2/SLP-76、VAV1、GRAP2と相互作用します。JAK1およびJAK3と相互作用します。PTK2/FAK1と相互作用します。CRK/CrKIIと相互作用します。IRS2と相互作用します。組織特異性:広く発現しています。ドメイン:SH2ドメインは、コンセンサス配列Y-[TVI]-X-Lを持つリン酸化ペプチドに優先的に結合し、PDGFRA、PDGFRB、FGRFR1、IL2RB、IL2RG、CD3Z、CRK/CrKIIとの相互作用を媒介します。機能:活性化受容体を下流のシグナル伝達成分に連結することにより、いくつかのシグナル伝達カスケードを制御するアダプタータンパク質です。FGFR1、VEGFR2、PDGFRシグナル伝達を制御することで、血管新生において役割を果たす可能性があります。また、塩基性FGFおよびNGF誘導シグナル伝達カスケードを媒介することにより、T細胞抗原受容体/TCRシグナル伝達、インターロイキン2シグナル伝達、アポトーシス、および神経細胞の分化にも関与している可能性があります。インスリン産生細胞のIRS1およびIRS2シグナル伝達も制御している可能性があります。PTM:PDGFRA、PDGFRB、TCR、IL2受容体、FGRF1、またはVEGFR2の活性化時にリン酸化されます。類似性:1つのSH2ドメインを含みます。細胞内位置:TCR刺激時に膜脂質ラフトと関連します。サブユニット:PTPN11と相互作用します(類似性による)。リガンド活性化受容体PDGFRAのリン酸化「Tyr-720」とSH2ドメインを介して相互作用します。EPS8およびV-SRCと相互作用する。GRB2およびGRAPと相互作用する。CD3Zと相互作用する。T細胞抗原受容体活性化時にチロシンリン酸化LATと相互作用する。PLCG1と相互作用する。ZAP70、LCP2/SLP-76、VAV1、GRAP2と相互作用する。JAK1およびJAK3と相互作用する。PTK2/FAK1と相互作用する。CRK/CrKIIと相互作用する。IRS2と相互作用する。組織特異性:広く発現している。

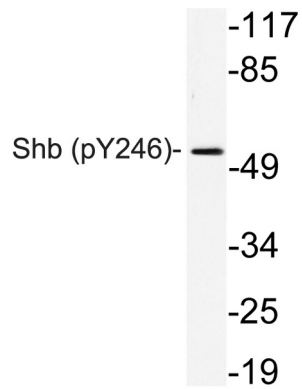
## 研究分野

-

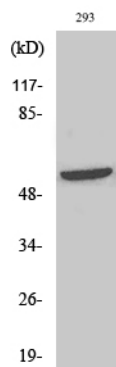
## 画像データ



Shb (リン酸化 Tyr246) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



リン酸化 Serhb (リン酸化 Tyr246) 抗体を用いた 293 細胞溶解液のウェスタンブロット分析。



リン酸化 Shb (Y246) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析